

制御系組込みシステムアーキテクト養成プログラム

(実施期間：平成 20～24 年度)

実施機関：静岡大学（代表者：伊東 幸宏）

連携自治体：浜松市

課題の概要

静岡大学内に地域での組込み技術者の教育を進める組織として「組込みシステムアーキテクト研究所」を設置し、地域再生人材養成ユニットの実施機関とする。組込みシステムアーキテクト研究所は、浜松市及び地域企業と連携して、ソフトウェア工学と制御技術の基本を深く理解し、実践に応用できる技術者、及びソフトウェア、電気／電子、機械の部門を横断的に俯瞰し統合できるシステムアーキテクトとして、これら複数の技術領域を統合する分野で活躍する技術者を育成する。「組込みシステムアーキテクト研究所」は、人材育成における地域企業の連携を促進するとともに、企業間の技術交流や協業の促進も行う。

(1) 総合評価（所期の計画と同等の取組が行われている）

地域企業で一定の経験を積んだ技術者を対象として、講義、実習、レビューを含む合宿ゼミ形式の教育によりシステムアーキテクトの人材養成を目指すプログラムであり、所期の計画と同等の取組が行われていると評価できる。地元のニーズを十分踏まえていることに加え、人材の養成レベルが明確であることから、修了者の地元での活躍により、地域の再生・発展に大きく寄与することが期待できる。

< 総合評価：A >

(2) 個別評価

①進捗状況

経済環境が激変したという状況であったものの、養成人数の目標は達成しており、おおむね所期の計画通りの進捗状況であると評価できる。被養成者のリフレクションシートを用いた評価と、これらのフィードバックの結果を活用し、コースプログラムの継続的な改善が実行されている点も評価できる。今後は、実践的な「制御系組込みシステムアーキテクト」が最も必要な中小企業の実状に配慮し、中小企業からの受講生受け入れを円滑に行うための方策を検討することを期待する。

②人材養成手法の妥当性

人材の育成目標レベルを独立行政法人 情報処理推進機構が定めた指針「組込みスキル標準 (ETSS)」の中級と明確に定義しており、教育プログラムもそれに応じた構成となっている。多様な職種を背景に持つ受講生一人ひとりに応じたカリキュラム構成と授業内容を用意し、必要に応じて難易度を変更するなどの工夫がなされている点は評価できる。また、単なる座学ではなく、合宿形式の PBL 学習により思考力を養う教育がなされていることも評価できる。

③実施体制・自治体等との連携

本課題の実施・運営体制に当たっては、地元企業と密接に連携し、連携自治体である浜松市がこれを支援する体制となっている。特に、浜松市が掲げる「浜松モデル」（人材育成、知的財産活

用、起業・創業支援、販路開拓、資金調達、技術開発等の産業支援に関わるサービスのワンストップサービス)の一環として、本事業がその人材養成部門を担っていることも評価できる。

④人材養成ユニットの有効性

地元の企業に所属し、一定の経験を積んだ技術者を対象とした教育プログラムになっており、今後修了者が所属している企業で活躍することにより地域の再生・発展に大きく寄与することが期待できる。本事業の質的成果を確実なものするため、「横断的に俯瞰し統合できるシステムアーキテクト」に相応しいより高いレベルの技術が習得できるよう、更なる教育プログラムの見直しとそれに対応した人材、教育手法の改善を期待する。

⑤継続性・発展性の見通し

実施期間終了後に学内に設立した「組込みシステムアーキテクト研究所」を独立させて、はままつ産業創造センター、静岡大学との連携により、養成ユニットを継続させる計画となっており評価できる。浜松市における製造業の大半を占め、また本事業の養成対象者の所属先でもある中小企業への訴求力がさらに高まるよう、本課題の取組に対して一層の努力を期待する。

(3) 評価結果

総合評価	進捗状況	人材養成手法の妥当性	実施体制・自治体等との連携	人材養成ユニットの有効性	継続性・発展性 の見通し
A	a	a	a	a	a